

令和4年11月18日

「北海道白滝遺跡群出土品」国宝の指定に関する答申について

11月18日（金）に開催された文化財審議会において、重要文化財北海道白滝遺跡群出土品が国宝に指定することについて答申を受けましたのでお知らせします。

答申に関する町長、教育長のコメントは以下のとおりです。

このたび、本町が所蔵しております重要文化財北海道白滝遺跡群出土品が、国の文化財審議会より国宝にふさわしいとの答申されましたことを、大変うれしく思っております。

北海道では函館市の土偶に続く2例目であり、国内最古の国宝となります。遠軽町白滝産の黒曜石は、およそ3万年前より人類の暮らしを支えた貴重な資源として、北海道内はもとより本州にまで広く分布しています。旧石器時代を代表する考古資料として学術的価値が評価されたことは非常に荣誉あることであり、誠に感慨深いものがあります。

また、来年7月には本町にて世界の研究者が集う国際黒曜石会議を開催する運びとなっております。この日本の宝の価値を、国内はもとより、世界中の方々に広く知っていただく絶好の機会になると大いに期待しております。

今後も遠軽町が取り組む白滝ジオパークの魅力として、観光振興、地域活性化の新たな起爆剤としながら持続可能な地域づくりに活かしていきたいと考えております。

遠軽町長 佐々木 修一

このたび、本町が所蔵しております重要文化財北海道白滝遺跡群出土品が、国の文化財審議会より国宝にふさわしいとの答申されましたことを、大変うれしく思っております。

年代的に古いものでおよそ3万年前のものと考えられており、わが国で最も古い時代の国宝となります。昭和初期から、白滝の地に幾度となく足を運び、資料を収集した郷土史研究家の遠間栄治氏の活動をきっかけに、多くの方々による調査研究活動の成果が、長い年月をかけて実を結んだものと思います。これもひとえに関係者の皆様方の文化財や地域に対する愛着と保護活動に対するご尽力の賜物であり、改めて深く御礼申し上げます。

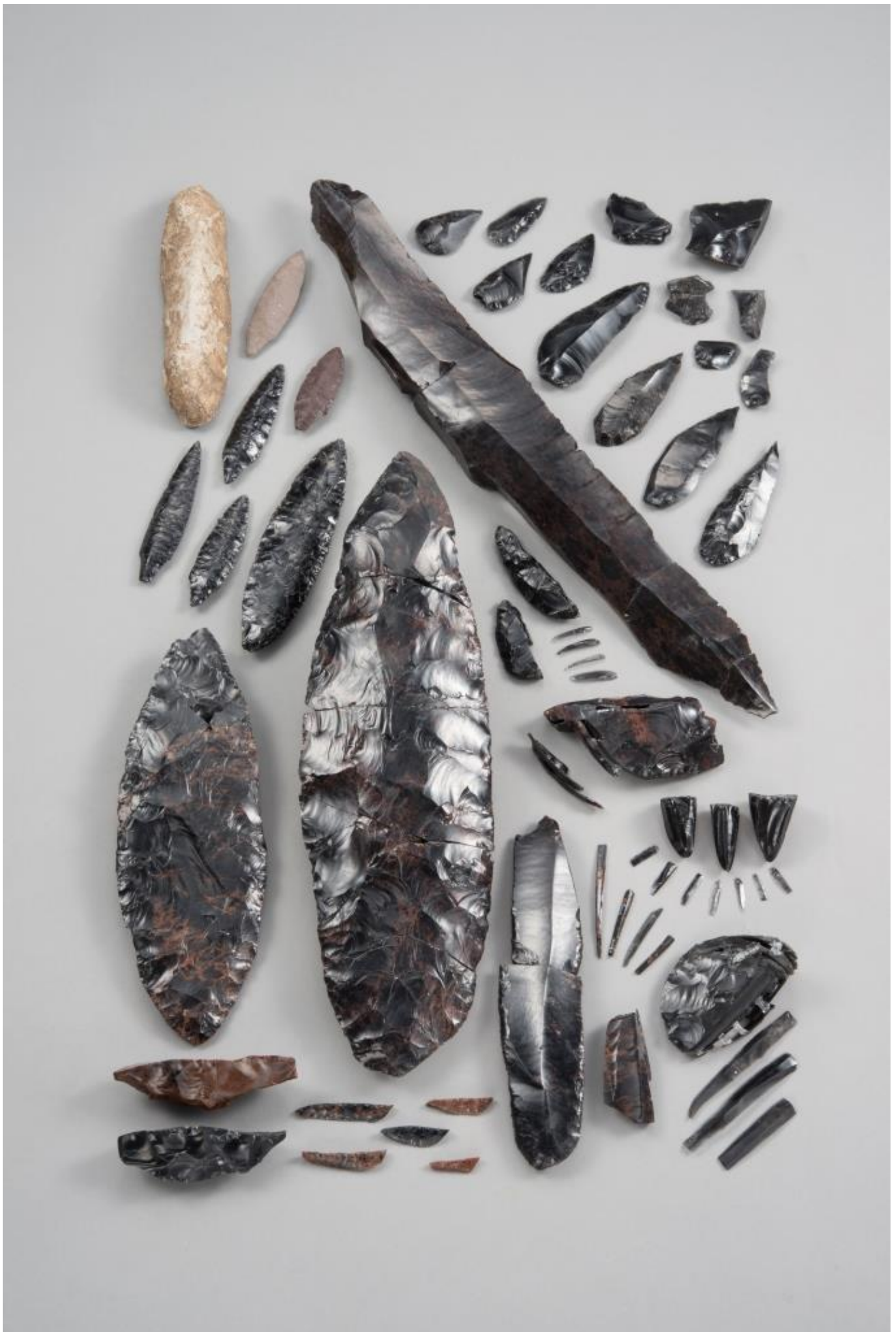
地域の宝でもある貴重な文化財を、後世に守り伝えていくとともに、白滝ジオパークの活動を通じて、さらなる教育・文化活動への活用に取り組んで参ります。

遠軽町教育委員会教育長 河原 英 男

なお、答申を受けた資料は遠軽町埋蔵文化財センターに展示しており、以下の日程で特別開館を実施します（いずれも9：00～17：00、展示室のみ体験学習室は休止）。

【無料開館】11月19日（土）・20日（日）

【有料開館】11月23日（水）・26日（土）・27日（日）



北海道白滝遺跡群出土品の主な石器（撮影：佐藤雅彦氏）